

楽しそうに沿道を歩く子どもたち



## 子どもたちの表情に笑顔の連鎖

◎近永乳児院ハロウィーン

近永乳児院の子どもたち8人が10月31日、ハロウィーンを行い、近隣の施設を訪問しました。色鮮やかなドレスや、キャラクター衣装に身を包んだ子どもたちはとても嬉しそうに沿道を歩き、役場、鬼北町社会福祉協議会、広見広楽荘と近永愛児園を訪れました。

沿道の通行人や訪れた施設の人たちは、子どもたちのかわいい変装や、嬉しそうな様子を見て顔をほころばせていました。

作品に目をやる来場者



## 生花とお茶で和の文化堪能

◎きほく生花展・お茶会

池坊、小原流、嵯峨御流、赤生流、草月流の流派が生け花を出展した「きほく生花展」は10月8、9の両日、広見体育センターで行われ、54点の作品が会場を彩りました。

作品はどれも個性豊かなものばかりで、訪れた人は一つ一つの作品の前で足を止め見入っていました。

また9日は、「ひろみこどもお茶教室」の児童、生徒らによるお茶会も併せて行われ、来場者は、子どもたちがたてたお茶と茶菓手に舌鼓をうっていました。

水鉄砲を作る児童と老人会員



## 非日常的な経験の数々児童ら成長

◎ワクワクドキドキチャレンジ合宿

近永公民館で合宿して学校に通学する「ワクワクドキドキチャレンジ合宿」は10月30日から11月3日までの5日間、近永小学校4、5、6年生を対象に行われ、14人が参加しました。

合宿では、▼すのこ作り▼座禅▼ドラム缶風呂入浴▼竹製の水鉄砲作りなど、さまざまな体験をしました。その他にも、自炊や洗濯も行うなど、普段では経験できないことを数多く体験した児童たちは、合宿終了時にはひと回り大きくなった様子でした。

大会に参加した音地さん



## 全国スポーツ大会2部門でメダル獲得

◎全国障害者スポーツ大会

障害がある人の社会参加を促進することを目的とした「全国障害者スポーツ大会」は10月22日から24日までの3日間、山口県で開催され、本町から出場した音地忠彦さん(父野川下)がやり投げとソフトボール投げの2部門で銅メダルを獲得しました。

音地さんは、愛媛県大会ではやり投げで新記録を出すほどの実力者。全国大会では力及ばず銅メダルという結果に終わりましたが、2つのメダルを獲得して堂々とした表情をしていました。